

留学報告書

学部 地域環境科学部
学科 造園科学科
職名 准教授
氏名 栗野 隆

1. 留 学 先：国立台湾師範大学（芸術学院美術学系文物保存維護研究發展中心）
2. 研究課題：日本統治時代の台湾における日式住宅庭園の空間的特徴と保存・修復方法に関する調査研究
3. 留学期間：2019年4月1日～2019年11月30日
4. 研究実績：

留学者は日本近代の住宅を中心に、洋風庭園と近代和風庭園について継続的に調査・研究を行い、様式の形成過程、地割・意匠上の特色、設計者や庭師の一端について知見を蓄積してきた。

留学中の研究目的は、これまで進めてきた近代庭園史研究をさらに台湾へと発展させ、日本統治時代(1895～1945)の台湾に築造された日式住宅庭園について、保存状況、築造経緯、地割・意匠上の特色、庭園作者を把握しつつ、我が国の同時代庭園との共通点、類似点、相違点を導き、日本の近代庭園が国際的に及ぼした影響の一端を明らかにすることであった。

留学中は特に、①文化資産として保存されており日式住宅の保存状況の整理、②庭園の空間的特徴の解明について文献調査とフィールドサーベイを中心にすすめ、③日式住宅庭園の保存修復方法に関する試論的検討を行った。③については、国立台湾師範大学が管理する文化資産であり、今後文物維護發展中心が主導する可能性がある日本統治時代の日式官舎（旧尾辻國吉邸庭園）の保存事業に参画しつつ実施した。

留学中の研究を踏まえ、今後は、①高等官が居住した官邸の庭園、②旅館や料亭などの接客施設の庭園、③日本から台湾に渡り、造園業をおこなっていた移民造園技術者が台湾でどのような造園活動を行い、第二次世界大戦後日本に戻りどのような活動をしたのかということに着目し、研究を行いたい。